

4年

	<p>①学習指導に関する現状と課題を書きます。</p> <p>②具体的な授業改善策を書きます。</p> <p>③補充・発展的な学習指導の計画を書きます。</p>
国語	<p>①理解や定着の個人差が大きい。漢字の習得は半数近くできているが、ほぼ書けない児童もいる。また、「聞く」ことや考えて「話す」ことについては課題である。</p> <p>②毎日、音読と漢字の書き取りの宿題を出す。ドリルやドリルノートを課外津陽して漢字の成り立ちや意味を確認し、漢字への興味を高め、書けるようにする。また、話の内容を意識し、要点を落とさずに聞いたり、自分の考えを書いたり話したりする指導を繰り返す。</p> <p>③まちがえた漢字を意識して練習させ、日記や日常の文章などに習った漢字は必ず使うよう指導する。また、話の後に、大事なポイントを確認したり聞き取りテストを行ったりして意識して聞くことの習慣化を図る。</p>
検 証	<p>言語への意欲は高まっており、自主学习等で進んで学習し、定着できている児童が増えた。最後まで意識して聞くことをさらに高め、進んで話せる雰囲気作りをし、話し合いや学び合いができるよう指導を続けていく。文章の読み取りや日記指導を通し、自分の思いを文章で表現できつつある。音読の宿題は毎日出したが、取り組めない児童もおり、なめらかに音読をすることについては、個人差がある。漢字については繰り返し丁寧に書けるよう添削をし、指導したが習熟度については個人差がある。小テストなども活用し、継続して指導を行っていく。</p>
社会	<p>①身近な生活と関わりのある学習単元のため、興味関心は高い。しかし、資料から必要な情報を選べなかつたり、正しく読み取れなかつたり、自分の生活と結びつけて考えられなかつたりする児童も多い。調べたことをもとに自分の考えを書いたりまとめたりする活動を通して表現力は育ってきている。</p> <p>②私たちの生活に関係している消防署や中央防波堤、浅草などの施設の見学や水の体験授業を取り入れて、言葉だけではなく体験しながら知識の定着を図る。また、資料から情報を正しく読み取る視点を教える。</p> <p>③見学して分かったことや考えたことを自分の言葉でまとめて発表する活動を増やす。自分の考えをしっかりとち、表現していくことの大切さを指導していく。</p>
検 証	<p>身近な内容や体験学習が多く、意欲的に学習に取り組む児童が多かった。資料を活用したり、学習したことや調べたことをまとめたりする力については個人差が見られた。今後も上記のような学習活動を計画的に設定していく必要がある。</p> <p>授業の中でも持っている知識や日常生活での気づきを発言する児童も見られた。そういった発言を全体で共有し、考えをもったり、表現したりする姿勢を身に付けていく。</p>
算数	<p>①学習意欲は高いが、学習の定着に個人差が大きい。問題の意味を理解できない児童や、前年度までの学習の理解が非常に難しい児童がおり、丁寧な個別指導が必要である。また、既習事項を元に、新しい問題を解決していく力が弱いと感じる。</p> <p>②ノート指導を重視し、ノートの形式に沿ってノートにまとめることを繰り返す。自分の考えを友達の前で発表したり、交流したりする機会を多く設ける。また既習問題など、基礎基本の問題の反復練習を取り入れる。</p> <p>③考えを全体で共有し、友達の考えを理解し、自分で説明できるようにする。友達の考えの良いところ、同じところ違うところなどを見付け、よりよい考えに統合できるようにする。</p>
検 証	<p>自分の考えを説明したり共有したり機会を多くとったことにより、既習事項を基に考え、説明する力が付いてきた。ノートを正確に見やすくすることを継続して指導した結果、ノートを活用する力が向上した。</p> <p>割り算やかけ算のひっ算が定着していない児童もおり、個別指導を行った。</p> <p>分度器の扱いについては個人差が大きい。計算なども含め、技能が身に付くよう引き続き指導を行っていく。</p>
理科	<p>①意欲的に学習に取り組めており、実験や観察のときは集中して取り組むことができている。今後は実験結果や観察記録を正しくまとめ、そこから導き出せる考察に至るまでの思考の流れを定着させる必要がある。</p> <p>②問題解決型の授業計画を意識的に設定する。既習事項や生活経験と結びつけさせながら、予想と理由→実験方法→結果の見通し→実験と結果→まとめ→考察の学習の流れを定着させていく。結果と考察の場面では、実験や観察の事実と、自らの考えを分けてノートに整理させていく。</p> <p>③児童の興味・関心を継続させるために、身の回りのどんな場面で学んだ科学的な事象が活用されているのか、将来どんな仕事や道具に発展、関連していくのかを伝えていく。</p>
検 証	<p>予想を立ててから実験を行い、考察をしたり、考えを共有したりしたことにより、全体的に理科的な思考力が育っている。ノートやカードに、図やグラフも入れ、くわしく書くよう意識させた。よいノートを紹介することで、意欲が高まり、工夫して書く児童が増えた。また、結果に終わらず、考察を書くことも指導を続けている。ただ、興味関心により知識の量に差があり、自分で考えたり、考えたことを表現したりすることが苦手な児童もいる。</p>
音楽	<p>①楽しく意欲的に学習に取り組む児童が多いが、集中力に欠け、指示がきちんと理解できていない児童もいる。</p> <p>②指示がしっかり聞けるよう、調音クイズやミニ鑑賞等の聴く活動を増やす。また、堂々と個人の声を響かせることに慣れるために、グループやペアで歌う学習を増やす。リコーダーの基礎基本の定着のために、1グループずつの発表会を行う。</p> <p>③個別指導が必要な場合は、休み時間等に練習時間を設ける。</p>
検 証	<p>グループやペアで友達と学び合うことで、どのように歌ったらよいかを互いに工夫し合うことができ、楽しみながら学びを深めることができた。</p>

<p>図工</p>	<p>①意欲的に取り組む児童も多い反面、じっくり取り組めない児童や発想や技術的なことに苦手意識をもつ児童も見られる。 ②基本的な道具の扱い等、使う段階で繰り返し指導を行い、個別の指導も行っていく。児童の発想の引き出しができるように児童が作品に還元できるような情報や知識も入れた授業づくりを行う。 ③道具を使う機会を増やし、道具に慣れていくようにし、休み時間等の時間を使って少人数での指導も行う。</p>
<p>検証</p>	<p>版画制作等を通して、じっくりと制作に取り組む様子が伺え、根気よく作品に取り組めるようになってきている。また、片付け等協力して行う様子も見られている。発想面や技術面で苦手意識をもつ児童もいるので、引き続き個人のペースに合わせながら、指導を行っていく。</p>
<p>体育</p>	<p>①意欲的に体育の学習に取り組もうとする児童が多いが、運動経験に差があり、それが能力の個人差にもつながっている。さらに、ルールが理解できなかつたり、友達と協力することが苦手だつたりする児童もいる。 ②グループで活動する活動を意図的に設定し、互いの技を見たり、教え合つたりすることができるようにする。友達と運動する場面を増やし、運動の楽しさを味わわせながら学習意欲につなげる。学習カードを活用し、目標設定や振り返りの充実を図る。勝ち負けではなく技や作戦の良さ、頑張りを評価することを意識させる。 ③休み時間は外で体を十分動かして遊ぶよう指導する。タブレットを用いて自分の動きを客観的に見られるようにし、技能の把握・向上につなげていく。</p>
<p>検証</p>	<p>ルールや勝敗を受け入れられなかつたり、協力できなかつたりする児童がまだ見られるので、今後も継続して指導していく。多くの児童は、協力的、かつ意欲的に学習を進めることができた。友達同士で技を見合つたり、チームとして活動したりしていく中で、考えたことを伝え合う姿や励まし合う姿が多く見られるようになった。思考的などころでは、考えながら運動している児童と何も考えずに運動している児童が見られる。学習カードやタブレットの活用、技能ポイントの伝え方など指導を工夫していく必要がある。</p>